

人工呼吸器離脱後嚥下障害の治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施しております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

ICU 在室時に気管切開術を行い嚥下障害を呈した症例の転帰について

【研究の背景と目的】

今回の研究は ICU 在室時に気管切開術を施行した患者さんのカルテを使用して、気管切開術後の嚥下障害の有無が入院期間や転帰先に与える影響を調査することを目的としています。

【対象となる方】

- 2020年4月1日から2024年3月31日の間にICUに入室されていた方
- 人工呼吸器管理時の年齢が20歳以上の方
- ICU在室時に気管切開術を施行した方
- 主治医からリハビリテーション処方をされた方
- 気管切開術後に嚥下機能評価と身体機能評価を実施している方

【使用する診療情報】

- 基本情報：入院日、生年月、性別、身長、体重、BMI、疾患名、挿管時間、再挿管の有無、気管切開日、抜管日
- 気管切開術後の嚥下機能の評価
- 気管切開術後の運動機能の評価
- 気管切開術後の血液データ
- 転帰先

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2024年9月14日）から2025年3月31日まで実施され、80名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう被験者コードで匿名化されたのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科 主任教授 上條 義一郎（医師）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科 担当者：荒井光明（言語聴覚士）
埼玉県越谷市南越谷2-1-50 電話番号：048-965-4928
受付時間：9:00～17:10（月曜～土曜日 第3週の土曜日を除く）

以上